

丹沢大山総合調査実行委員会 第3回調査企画部会 開催結果

日時：2004年10月22日(金) 13:30～16:30

場所：高相合同庁舎 4F 大会議室

出席者(敬称略)：

委員 木平勇吉(座長)、羽山伸一、青木淳一、鈴木雅一、勝山輝男、糸長浩司、原慶太郎、
中村道也、川又正人

オブザーバー 寺西俊一、吉田剛司、雨宮有

厚木事務局 蓮場、原田、山根、多賀谷、田村、越地、内山、田口、白井、倉野、笹川、
木村、夏苺、羽太、相馬

横浜事務局 小宮、田宮、浅岡

議事

(1)協議事項

- ・調査の実施状況及び課題(各調査チームリーダーから)

【質疑応答】

生きもの再生調査チームについて

- ・とりまとめが大変だとのことだが、中間報告にはある程度まとまったものを県民に示してほしい。
今回の調査結果だけでは出せない部分もある。もっと、前回の総合調査からの比較が必要なので難しい。

水土チーム再生調査チームについて

- ・シカ - 土の横断型調査について、シカの糞と踏圧と、微生物との関係を調査をしてもらえないか？
かなり難しい。ただ、雨滴の衝撃に関しては調査中。地表面をカバーしているものがあるかどうかは調査しているが、表面の状況そのものの調査は今のところ考えていない。来年度、可能であれば調査員を加えたい。

- ・最近の丹沢が乾燥してきているのかどうか、水質が変わってきているのかどうか、ダムができた前と後とでどうか変わったのか、というような、素朴な疑問に答えられる結果が出るのか？

今年と来年のモニターの他に、なるべく過去の情報と現在の対比を最終報告書に入れたい。関東大震災以前・以後の土砂や、ダムができる前と後について考えている。今年、来年に明示は難しいかも知れないが、最終報告書には入れる。

保全センターでは、ブナ衰退調査を4カ所でやっているの推測は可能。水分ストレスを受けているのではないかとということに関する検討はしている。総合調査と区切りながらもリンクしてやっていきたい。

地域再生調査チームについて

- ・サイン・標識について、景観の問題として、あるいは登山道の実態の問題として調査はしないのか。

ランドスケープ調査は予定している。ただ、標識までやるということは今のところ考えていない。登山道の話などは考えている。検討する。

情報整備調査チームについて

・アトラス丹沢第1集のイメージとはどんなものか。

一部のこれまでの成果品。第1集は教育コンテンツ、地図、前回調査の目録情報。案を11月までに出す。事務局宛にご意見を頂きたい。CD版か印刷物かは、予算を検討する。内容が固まり次第、掲示板等で示すのでご意見を頂きたい。

・e-Tanzawaの公開の範囲と一般の人のアクセス方法は。

それは今後の決め方の問題。調査員にはパスワード制にする予定。一般の人には、表現の仕方を3次メッシュにとどめておくなどの工夫をする。希少種の度合いや今後の約束作りによって慎重に決める。研究者だけの閉鎖的なものだけでもよくないが、危惧は理解できる。

・e-Tanzawaについて、調査員全員にパスワードを教えるもいいのか？

写真はライセンスの問題があるため、誰もが使えるわけではない。個人利用は避けてもらいたい。10/31までに新しい発行し、利用をログ管理する。

・航空写真や衛星写真の調査はないのか。

情報整備の解析手法ということで実施している。イコノスは一時期しかないので継続的に見るのは難しい。空中写真でどの程度できるかということと、マンパワーをどうするかが課題。

政策検討の進め方について

・概要説明 羽山WGリーダー

【質疑応答】

・勉強会に林務課は予定していないのか。

日程調整中。随時お願いしていくつもり。

・10/10は研究者ベースのWS。地元と現場で集中したWSが、政策を考える上では必要なのではないのか。

総合調査とは別の特定計画で、計画作りの段階から多様な主体に参加してもらって、過程を踏んでやっている。計画が動く中で、行政センター単位、市町村レベルで鳥獣対策をしている。十分とは言い切れないが、住民との接点なしにすすめてきたわけではない。

・地元では勝手に開発をすすめている。調査団全体でどういうスタンスをとるのか。土地利用に関することなので、もっときめ細やかな流域レベルの政策を決めるべきではないかと思う。

土地利用に関わる問題は、今出せるなら調査の必要はないとも言える。今回の調査の結果をもとに、保護対策の妥当性を示す必要がある。今の段階では人間のニーズは出てくるが、生きものや自然のニーズが出てこない。総合調査の出口で、自然と人間との調整をどうするのかをを提言できればいいのではないかと思う。

・シカとの共生ということでシカを低標高域に分散させる場合、エサ場を作るなどの具体的な提案を打ち出してもよいのではないかと思う。

その通りだが、どういう間伐にしたらよいか、どういうエサがどのくらい出るのか、ということ自体データがない。要検討。

・現在、森林組合が機能していない中で、地域に密着した管理権を立ち上げることが、森林組合の活用や地域の再生、人工林の手入れ、森林整備にもつながるのではないか。新たな機構を作るなどの検討もしてみてもいいか。

政策WGとその点でのWSが、早いうちに必要。林務課も深く関わっているので、入ってもらう必要がある。12/18の政策WGの勉強会で徹底的に議論をしたい。

12/18には地域再生チームも合流。(地域再生チームの合宿の日程を変更)

・各チームに、政策検討WG責任者をおくということだが、どの分野にどんな人が必要かというマトリクスがあるか？

本来、調査企画部会がその役割を果たすが、頻繁に開くことができないため、勉強会に出てもらったなどの課題毎の窓口となる人が必要。時間的にも労力的にも大変だと思うが、こういうものがないと、調査と政策検討とがバラバラになってしまう可能性がある。協力をお願いしたい。

・ポテンシャルマップについて、なるべく早い途中の段階でシナリオを作ってもらい、必要なデータなどを示してほしい。

来年度の計画で示したい。課題の視覚化を考えている。その段階でギャップが明らかになると思う。

(2) 報告事項 原田副所長

- ・丹沢大山保全緊急対策について
- ・丹沢エコツーリズム発信事業について

【質疑応答】

・実行主体と関連チームの連携はどのようにしていくのか？

例えば、モニタリング調査などは水土チームやその他の行政機関、具体的には県央農政事務所など、関係者で連絡チームを作ってすすめる。工事はもちろん、モニタリングを重視した予算。

・エコツーリズムは具体的にどんな仕組みでやるのか？

現時点ではニーズ調査の中で模索しているところ。ツアーを組む側と受け入れ側の意識の把握が重要という認識をしている。また、オーバユース等をガイドの中で組み込んでいくかということまで視野に入れて検討している。

【要望・提案】

- ・堂平は20年以上いろいろな調査をやってきているので、それらに影響しないような配慮が必要ではないか。また、長い時間かけてやったことの見直し作業もしてほしい。
- ・試験施行の結果が出てきたあとで、実際に展開できる場所をきちんと取っておくということと、やった場所とやらなかった場所が比較できる場所を確保しておいてほしい。
- ・エコツアーに関して、保全センターのあり方や施設の改築などもあるようだが、県としてはどのように関わっていくつもりなのかについて検討してもらいたい。他の調査チームとの連携も必要になる。
- ・資料の「自然系のNPO活動は、植樹や清掃、野生動物調査など。ツーリズムとは結びついていない。」という部分の記述は不適切であり、削除してほしい。
- ・エコツアーについて、実行主体が旅行会社やNPOではなく、市町村が行うというような、市町村の位置づけが、最後のゴールで必要なのではないか。

(3)その他

- 第4回調査企画部会の日程(2月27日)と内容
- 中間報告会の開催について
- 第5回調査企画部会の日程調整

【決定事項】

- ・第4回調査企画部会は2月27日10時から、中間報告会を3月27日に実施するということ了承。

【要望・提案】

- ・中間報告会は調査チームからの発表だけでなく、「丹沢Q & A」のような今までの保全再生セミナーなどで出てきた要望などを整理してしめしてみてもどうか。
- ・調査員全体の集まりを開催してほしい。本来の調査員のWSが必要なのではないか。
2/27は、それを目的に4つのチームと政策WGの関係者に広く呼びかけたい。
- ・総合調査に関わっている人(リーダー、サプリーダー、調査員)みんなが出なければいけないという、ある程度義務化した集まりも開催すべき。
- ・2/27、3/27ともに時間が長いので、進め方に要工夫。

・2/27 は調査企画部会と調査団を併記すべき。

その他

- ・保全再生セミナーの開催
- ・調査員などの委嘱状況
- ・行政連絡会議分科会の設置
- ・再生 B-mail、e-Tanzawa Support について
- ・神奈川新聞連載記事について
- ・人材バンクの状況
- ・パンフレットの発行

【要望・提案】

・パンフレットは、関係者に配るのではなく、不特定多数の人が集まる、銀行や歯医者などにおくべき。関心のない人に関心を持ってもらうためのものなので、渡らないと意味がない。また、遅くなってしまうとは意味がない。千ではなく、万の単位での増刷が必要。

増刷することは可能。予算について緑政課との相談が必要。年度末に企業の募集などが始まるので、その過程で声をかけて出す機会を作りたい。